

令和 5 年度 南区自治協議会提案事業

「南区まちづくり活動サポート事業」実施報告書

令和 6 年 2 月 29 日

団体名 大通子ども食堂運営委員会

代表者氏名 渡辺 悦子

1 提案事業名

食育を通じた「第3の居場所」の提供と「地域のつながりづくり」

2 事業内容

- ・ 目的／「孤食」の解消 「つながり」の創生

(1) 食事の提供

- ・ 食に関する様々な経験を通して食育を推進する。
- ・ ボランティアによる手作りの温かい食事の提供
- ・ 全員で食べる「おいしくて楽しい時間」を大切にする。

(2) 安心できる居場所の提供

- ・ 「食」を通してふれあい、身近に信頼できる大人がいることを知ってもらう。
- ・ 子どもだけでなく、大人も安心していられる心地よい居場所として過ごしてもらう。

3 評価と課題（目的と成果、今後の取り組み等について記入してください。）

- ・ 開催日時 令和5年8月～令和6年2月 原則毎月第4金曜日 全7回
16時30分～19時00分
- ・ 延べ参加人数 子ども 146人、大人 82人、ボランティア 105人

○目的と成果

- ・ 孤食の解消を目的としていたが、当初はほとんどが親子での参加であり、孤食を解消するための利用ではないと思われた。しかし、徐々に子どもだけの参加も増えており、利用の仕方が変化してきている。
多様な家族の参加があり、子育て支援の一助になっていると感じている。
参加者はリピーターが多く、回を重ねるごとに参加する子どもたちの笑顔が多くなっていると感じる。
- ・ 食生活改善推進委員・大学生・子育て中の男性等子ども食堂に関心がある地域の方が毎回15名ほどボランティアスタッフとして参加し、手作りのおいしい食事作りや子

どもの遊び・勉強の見守りを担っている。参加者の食事への満足度が高いことも自慢である。

またボランティアの募集が、地域で活躍する新たな人材の発掘の機会にもなっている。

- ・白根北児童館を始め地域内の商店や一般住民の方、農場の方などから食材の提供を通して繋がりができた。地域の方の温かい支援があって食堂が運営できていると感謝している。

○今後の取り組み

地域での子ども食堂の認知度がまだ低いため広報活動が必要であることや、参加者に楽しいと感じてもらえるよう内容を充実させ魅力ある子ども食堂にするために、次の3つの方策を実施する。

1. 回覧板を活用した定期的なお知らせ、小学校でのチラシの配布。
2. 地元コミュニティ協議会や白根北児童館・南区役所・南区社協などとの連携を進めていくほか、目的に対し有効な関係性を深められる団体とも積極的に連携していきたい。
3. フリータイムを交流時間に
16時30分から18時00分までのフリータイムに、ミニイベントを開催することで魅力のある時間にする。
コミ協でサークル活動をしている方などに講師を依頼し、子どもたちに地域の魅力を伝え地域の方と関わる時間になるようにする。

4 実施状況写真





収支決算書

収入内訳

(単位:円)

収入項目	予算額	決算額	内 訳
南区まちづくり活動サポート事業委託料	279,000	279,000	新潟市からの委託料
参加費	35,000	32,800	・子ども 100円×97人= 9,700円 ・大人 300円×77人=23,100円
自己資金		2,003	
収入合計	314,000	313,803	

支出内訳

(単位:円)

支出項目	予算額	決算額	内 訳	委託料 充 当
消耗品費	133,420	165,434	・食器・トレイ、調理用品 ・食器調理用品保管庫	○
印刷製本費	60,000	67,035	チラシ・ポスターデザイン・印刷代	○
食糧費	100,000	81,334	食材費	○
保険料	5,880	0		
使用料	14,700	0		
支出合計	314,000	313,803		

※1 支出内訳で、南区まちづくり活動サポート事業委託料を充当した項目は、「委託料充当」欄に○を記入してください。

※2 領収書の写しを必ず添付してください。